

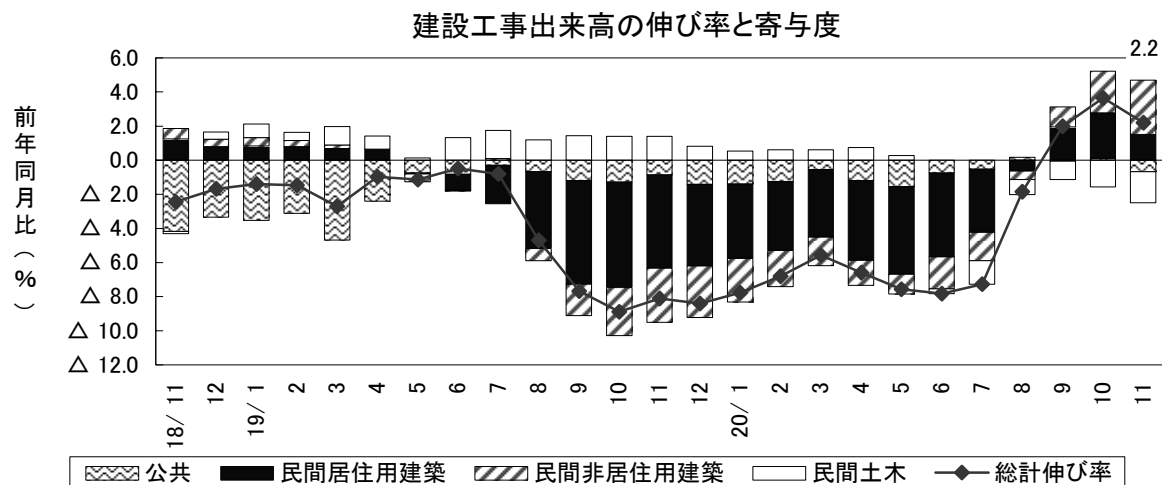
# 1. 建設投資の概況

## (1) 建設工事出来高

11月の建設工事出来高は、全体で4兆6,430億円と前年同月比2.2%増加した。

公共は、建築が2,086億円（前年同月比0.5%減）、土木が1兆5,149億円（同1.9%減）となり、全体では1兆7,236億円（同1.7%減）となった。

民間は、建築が2兆3,787億円（前年同月比9.8%増）、土木が5,407億円（同13.3%減）となり、全体では2兆9,194億円（同4.7%増）となった。



(単位：億円)

区分 年度年月		総計	民間	建築		土木	公共	
				居住用	非居住用			
年	17年度	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	59,934	197,376
	18	528,833	353,226	289,561	195,441	94,119	63,665	175,608
	19	500,514	330,587	261,618	176,043	85,575	68,969	169,927
月	20年8月	40,333	28,096	22,926	15,170	7,756	5,170	12,237
	9	43,228	29,345	23,768	15,646	8,122	5,578	13,883
	10	45,864	29,750	24,309	15,982	8,327	5,441	16,114
	11	46,430	29,194	23,787	15,524	8,263	5,407	17,236

(前年比・%)

年	17年度	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
	18	△ 1.4	4.3	3.9	3.7	4.3	6.2	△ 11.0
	19	△ 5.4	△ 6.4	△ 9.6	△ 9.9	△ 9.1	8.3	△ 3.2
月	19年11月	△ 8.1	△ 11.4	△ 16.5	△ 15.4	△ 18.7	12.5	△ 2.3
	12	△ 8.4	△ 11.2	△ 15.4	△ 13.9	△ 18.6	7.1	△ 3.7
	20年1月	△ 7.8	△ 10.3	△ 13.7	△ 12.8	△ 15.7	4.7	△ 3.7
	2	△ 6.8	△ 8.8	△ 12.1	△ 11.8	△ 12.7	5.1	△ 3.4
	3	△ 5.6	△ 7.9	△ 11.5	△ 12.1	△ 10.3	4.3	△ 1.5
	4	△ 6.6	△ 8.0	△ 11.2	△ 12.7	△ 8.2	5.7	△ 3.7
	5	△ 7.6	△ 8.2	△ 10.4	△ 12.6	△ 5.9	2.1	△ 5.8
	6	△ 7.8	△ 9.6	△ 11.3	△ 12.2	△ 9.6	△ 1.9	△ 2.9
	7	△ 7.3	△ 9.2	△ 9.1	△ 9.4	△ 8.4	△ 9.7	△ 1.9
	8	△ 1.8	△ 2.9	△ 2.0	△ 1.7	△ 2.6	△ 6.5	0.6
	9	2.0	3.1	5.9	5.6	6.5	△ 7.5	△ 0.2
次	10	3.6	5.6	10.3	8.0	15.0	△ 11.4	0.3
	11	2.2	4.7	9.8	4.6	21.3	△ 13.3	△ 1.7
累計	4月~11月	△ 2.7	△ 3.1	△ 2.4	△ 3.9	0.7	△ 5.7	△ 1.7

資料：国土交通省「建設総合統計」

## (2) 公共機関からの受注工事

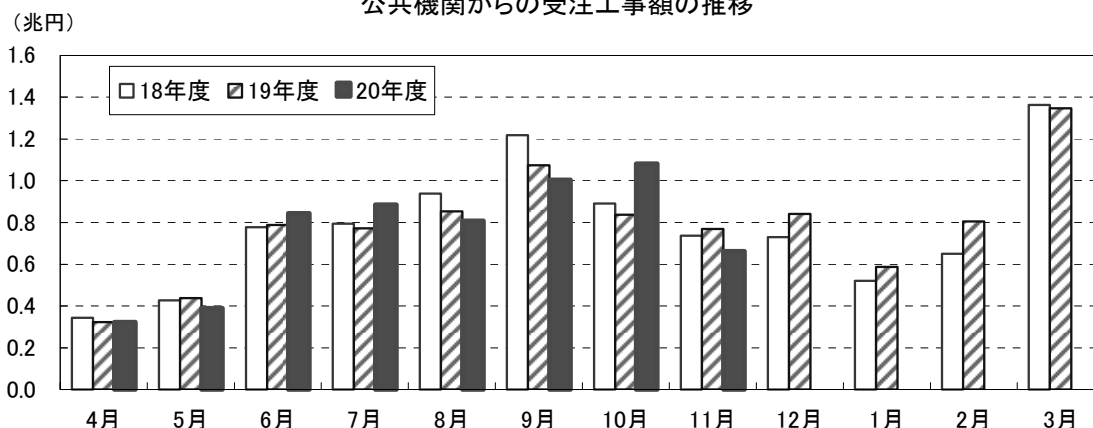
11月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は6,621億円で、前年同月比13.9%減少（2ヶ月ぶり）した。うち国の機関からは2,273億円で同10.9%減少（2ヶ月ぶり）、地方の機関からは4,349億円で同15.3%減少（2ヶ月ぶり）した。

工事分類別で見ると、治山・治水（前年同月比27.5%増、寄与度+2.9）、公園（同66.5%増、寄与度+1.2）等が増加し、道路（同21.8%減、寄与度-7.0）、農林水産（同40.3%減、寄与度-3.6）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別で見ると、都道府県の道路（寄与度-3.0）、市区町村の道路（寄与度-2.8）等のマイナスの寄与度が大きい。

11月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比3.9%増加（6ヶ月連続）した。

公共機関からの受注工事額の推移

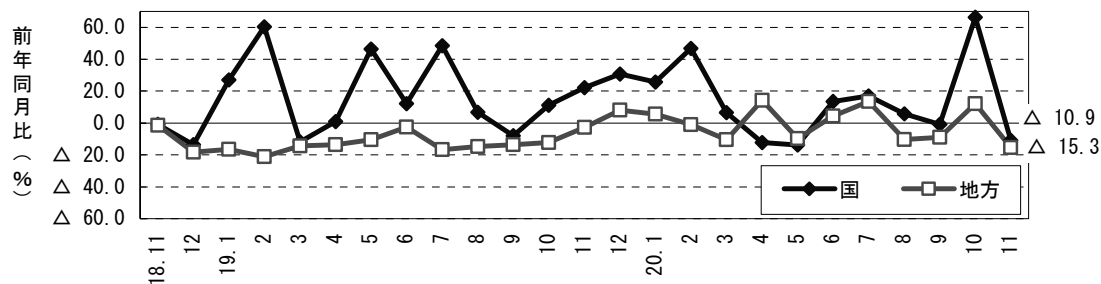


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分	年度年月	総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外の機関	小計	都道府県	市区町村	地方公営企業	その他
年	17年度	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
	18	△ 12.8	△ 10.0	△ 3.6	△ 18.5	△ 14.2	△ 15.2	△ 12.8	△ 16.9	△ 13.8
	19	0.5	16.9	8.7	29.7	△ 8.0	△ 2.8	△ 11.4	△ 2.5	△ 33.5
月	19年11月	4.3	22.2	4.8	43.7	△ 2.7	2.5	1.6	△ 35.9	△ 16.4
	12	15.2	30.6	27.8	32.9	8.2	17.9	1.1	5.0	△ 27.2
	20年1月	12.8	25.7	26.9	24.2	5.6	41.6	△ 9.5	△ 49.4	△ 27.0
	2	24.0	46.8	56.0	35.4	△ 1.0	△ 0.6	△ 6.2	53.5	△ 34.3
	3	△ 1.2	6.6	4.7	10.2	△ 10.5	△ 11.4	△ 2.8	△ 13.3	△ 47.6
	4	0.1	△ 12.3	△ 12.7	△ 11.8	14.3	△ 12.4	18.5	51.9	57.1
	5	△ 11.1	△ 13.8	26.1	△ 38.8	△ 9.7	△ 37.4	1.5	40.6	△ 3.7
	6	7.1	13.5	△ 35.2	88.3	4.5	9.9	0.1	5.4	24.2
	7	14.7	17.0	21.1	11.9	13.5	6.5	22.5	△ 14.7	55.4
	8	△ 5.4	5.8	△ 9.6	31.1	△ 10.3	△ 9.2	△ 1.7	△ 42.4	△ 27.2
	9	△ 6.4	△ 0.9	2.1	△ 4.6	△ 9.0	△ 4.9	△ 4.7	△ 33.7	△ 38.6
10	29.2	66.4	45.3	94.0	12.2	19.2	5.8	15.1	△ 12.2	
11	△ 13.9	△ 10.9	△ 0.5	△ 20.3	△ 15.3	△ 5.4	△ 20.5	△ 37.9	△ 36.9	
累計	4月～11月	2.5	10.0	3.7	17.6	△ 1.2	△ 1.2	1.0	△ 11.2	△ 1.2

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

発注機関別受注工事額の伸び率



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	93,878	31,969	61,909	20,867	122,838	175,608	212,322
19	94,329	37,381	56,948	21,031	117,818	169,927	203,608
19年IV期	24,473	8,148	16,326	4,162	28,811	52,333	62,478
20年I期	27,398	15,264	12,134	9,427	26,287	47,664	56,565
II	15,555	5,386	10,170	4,045	28,444	31,682	37,736
III	26,965	9,034	17,932	5,223	33,180	36,741	44,747
20年6月	8,439	2,618	5,821	2,447	9,743	9,812	
7	8,851	2,955	5,896	2,057	12,202	10,621	
8	8,074	2,775	5,299	1,530	9,253	12,237	
9	10,040	3,304	6,737	1,637	11,724	13,883	
10	10,818	4,372	6,446	3,016	11,697	16,114	
11	6,621	2,273	4,349	1,259	8,443	17,236	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				公共工事 請負金額(※)	出来高 (総合統計)	公的固定 資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
18年度	△ 12.8	△ 10.0	△ 14.2	△ 15.6	△ 5.2	△ 11.0	△ 7.7
19	0.5	16.9	△ 8.0	0.8	△ 4.1	△ 3.2	△ 4.1
19年IV期	3.8	21.2	△ 3.1	△ 7.2	△ 2.9	△ 3.3	△ 1.7
20年I期	8.1	20.2	△ 3.9	18.8	△ 5.2	△ 2.8	△ 5.6
II	0.5	△ 1.9	1.8	17.4	△ 8.4	△ 4.1	△ 4.2
III	△ 0.1	6.5	△ 3.1	30.7	4.7	△ 0.4	△ 0.9
19年11月	4.3	22.2	△ 2.7	△ 15.1	△ 4.3	△ 2.3	
12	15.2	30.6	8.2	27.5	△ 1.1	△ 3.7	
20年1月	12.8	25.7	5.6	36.0	△ 3.5	△ 3.7	
2	24.0	46.8	△ 1.0	45.9	13.1	△ 3.4	
3	△ 1.2	6.6	△ 10.5	△ 0.4	△ 12.6	△ 1.5	
4	0.1	△ 12.3	14.3	△ 3.3	△ 4.7	△ 3.7	
5	△ 11.1	△ 13.8	△ 9.7	△ 12.7	△ 9.6	△ 5.8	
6	7.1	13.5	4.5	44.0	△ 11.3	△ 2.9	
7	14.7	17.0	13.5	93.9	13.8	△ 1.9	
8	△ 5.4	5.8	△ 10.3	14.0	△ 6.0	0.6	
9	△ 6.4	△ 0.9	△ 9.0	2.7	5.5	△ 0.2	
10	29.2	66.4	12.2	242.0	△ 0.4	0.3	
11	△ 13.9	△ 10.9	△ 15.3	3.9	△ 2.8	△ 1.7	
4月~11月	2.5	10.0	△ 1.2	42.0	△ 1.7	△ 1.7	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」「建設総合統計」、内閣府「四半期別GDP速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

注) 公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※) 公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、公共工事請負金額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

### (3) 住宅

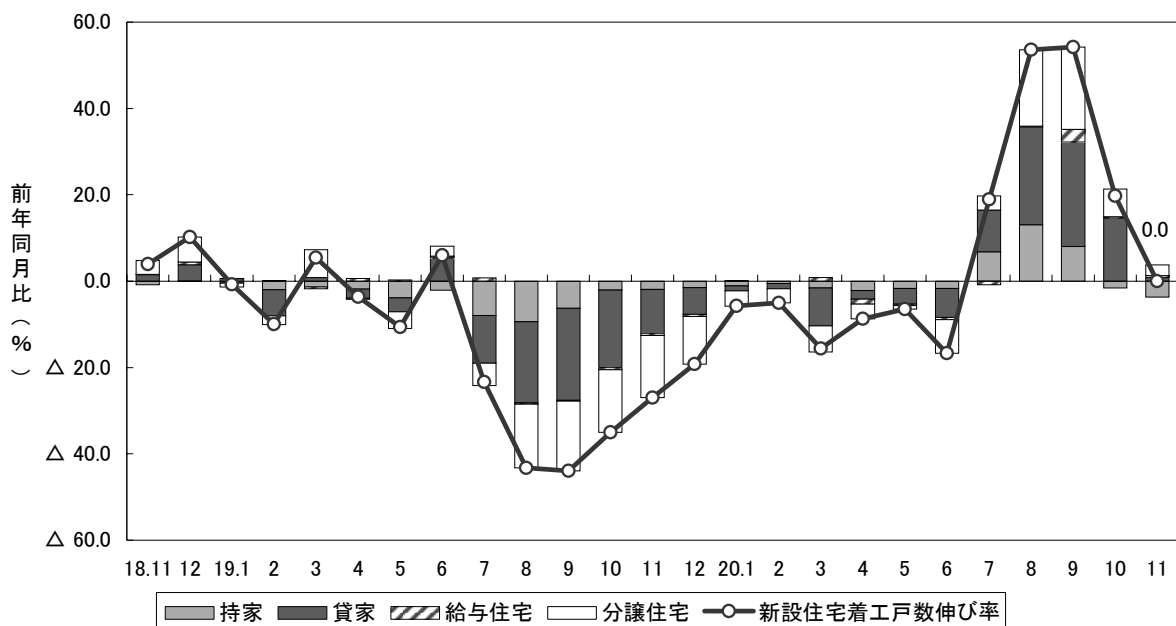
11月の着工は84,277戸。前年同月比で見ると、持家は減少したものの、貸家、分譲住宅が増加したため、全体で0.0%増加（5ヶ月連続）となった。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成19年7-9月期799千戸（前期比37.1%減）、10-12月期961千戸（同20.3%増）、平成20年1-3月期1,127千戸（同17.2%増）、4-6月期1,132千戸（同0.5%増）、7-9月期1,119千戸（同1.1%減）、10月1,027千戸（前月比8.9%減）、11月954千戸（同7.0%減）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家	貸家	分譲住宅	マンション	季節調整済 年率換算値 総戸数 (千戸)
年度年月								
年	17年度	1,249,366	4.7	△ 4.0	10.8	6.1	11.2	
	18	1,285,246	2.9	0.9	3.9	3.3	4.8	
	19	1,035,598	△ 19.4	△ 12.3	△ 19.9	△ 26.1	△ 34.0	
月	19年11月	84,252	△ 27.0	△ 7.6	△ 23.4	△ 47.4	△ 63.9	956
	12	87,214	△ 19.2	△ 6.0	△ 14.4	△ 35.5	△ 49.7	1,050
	20年1月	86,971	△ 5.7	△ 4.2	△ 2.7	△ 11.6	△ 12.0	1,187
	2	82,962	△ 5.0	△ 2.1	△ 3.1	△ 9.7	△ 11.9	1,150
	3	83,991	△ 15.6	△ 6.1	△ 22.0	△ 18.0	△ 22.2	1,088
	4	97,930	△ 8.7	△ 7.8	△ 5.3	△ 10.4	△ 10.7	1,151
	5	90,804	△ 6.5	△ 5.7	△ 8.6	△ 3.1	4.0	1,072
	6	100,929	△ 16.7	△ 6.6	△ 15.1	△ 27.2	△ 36.5	1,130
	7	97,212	19.0	23.1	22.7	12.7	15.9	1,144
	8	96,905	53.6	35.6	59.6	73.7	128.8	1,130
	9	97,184	54.2	19.9	66.9	82.8	217.6	1,126
	10	92,123	19.8	△ 4.3	35.4	28.9	96.3	1,027
11	84,277	0.0	△ 11.7	1.7	11.0	43.3	954	
累計	4月～11月	757,364	9.1	3.9	12.3	10.5	22.3	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

11月の着工は23,499戸。沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比11.7%減少(2ヶ月連続)した。

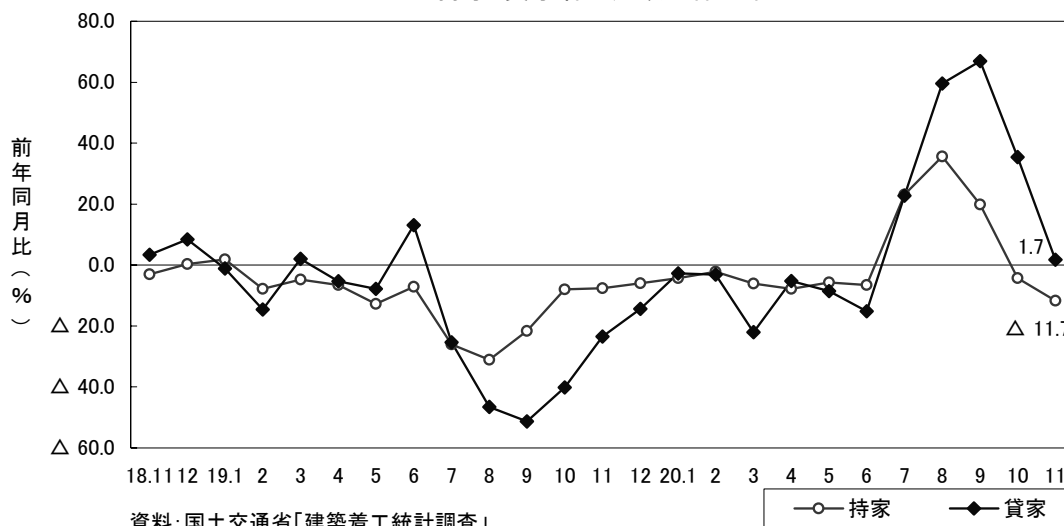
<貸家>

11月の着工は39,521戸。北海道、東北、北陸、中部、中国及び四国では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比1.7%増加(5ヶ月連続)した。

<分譲>

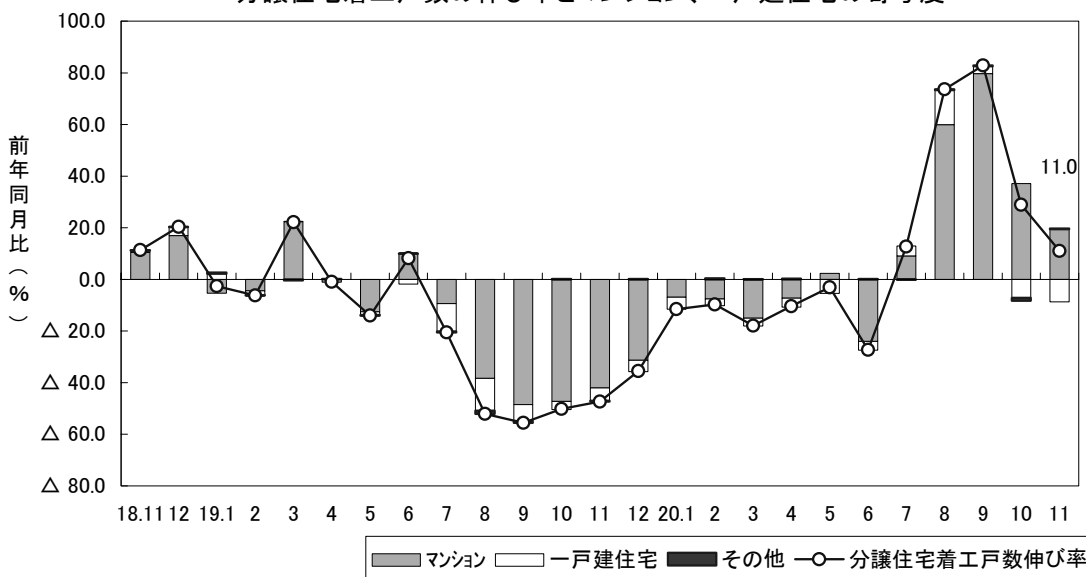
11月の着工は20,518戸。東北、北陸、中部及び近畿では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比11.0%増加(5ヶ月連続)した。マンションは11,937戸で、首都圏は増加(6,655戸、前年同月比42.2%増、5ヶ月連続)、中部圏は減少(1,028戸、同12.1%減、2ヶ月連続)、近畿圏は増加(2,341戸、同20.5%増、4ヶ月連続)、その他の地域は増加(1,913戸、同254.9%増、5ヶ月連続)し、全体では同43.3%増加(5ヶ月連続)した。一戸建住宅は8,455戸で、同15.9%減少(2ヶ月連続)した。

持家・貸家着工戸数の伸び率



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



資料:国土交通省「建築着工統計調査」

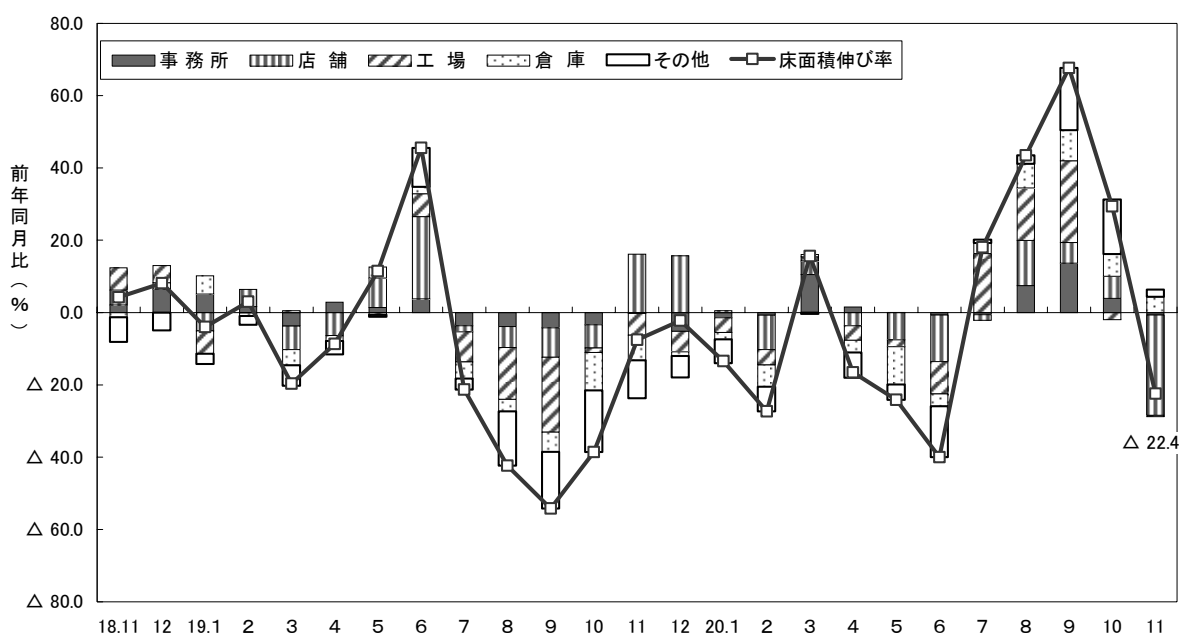
#### (4) 民間非居住建築

11月の着工床面積は397万㎡で、前年同月比22.4%減少(5ヶ月ぶり)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は49万㎡で前年同月比6.5%減少(4ヶ月ぶり)、店舗は56万㎡で同71.8%減少(4ヶ月ぶり)、工場は89万㎡で同1.7%減少(2ヶ月連続)、倉庫は56万㎡で同66.4%増加(5ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成20年12月実施)で平成20年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比2.4%増加(平成19年度前年度比4.6%増加)となり、非製造業(大企業)は同1.7%減少(平成19年度同5.0%増加)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断D I(過剰-不足)をみると、「最近」は7、「先行き」は10となり、設備過剰感は製造業を中心に大幅に高まっている。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額				
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫
年	17年度	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6
	18	0.6	2.5	△ 9.5	8.8	8.9	3.2	2.1	△ 3.1	10.3	17.4
	19	△ 12.2	△ 5.2	14.9	△ 21.9	△ 19.1	△ 8.3	3.2	13.6	△ 15.1	△ 13.4
月	19年11月	△ 7.6	△ 2.5	82.1	△ 26.9	△ 53.3	△ 13.6	△ 7.0	49.9	△ 6.9	△ 46.8
	12	△ 2.3	△ 38.8	73.8	△ 24.6	△ 10.2	△ 6.5	△ 35.9	26.9	△ 18.6	6.0
	20年1月	△ 13.4	△ 10.9	3.0	△ 21.3	△ 10.9	△ 6.5	△ 5.3	18.2	△ 26.7	△ 0.3
	2	△ 27.3	△ 6.7	△ 43.9	△ 19.5	△ 40.0	△ 16.0	17.4	△ 36.6	2.7	△ 35.4
	3	15.7	85.3	22.8	4.4	5.0	36.8	142.2	29.0	30.9	△ 1.3
	4	△ 16.6	10.6	△ 23.4	△ 18.1	△ 23.5	△ 5.6	26.6	△ 33.0	△ 4.5	△ 5.9
	5	△ 24.1	0.3	△ 37.8	△ 9.5	△ 49.7	3.7	6.4	△ 17.8	4.8	△ 27.9
	6	△ 40.0	△ 7.6	△ 49.5	△ 41.9	△ 29.1	△ 33.6	4.9	△ 44.6	△ 26.6	△ 13.4
	7	18.0	△ 6.6	△ 7.8	81.3	20.3	76.9	16.1	1.6	336.4	13.0
	8	43.5	75.7	107.1	77.6	32.6	64.0	88.4	169.5	109.2	96.2
	9	67.6	137.9	35.7	149.6	52.0	65.9	115.7	48.7	165.4	72.6
10	29.4	34.3	52.4	△ 5.8	75.0	36.0	58.1	106.0	8.8	97.0	
11	△ 22.4	△ 6.5	△ 71.8	△ 1.7	66.4	△ 7.9	27.2	△ 64.2	△ 5.4	61.1	
累計	4月~11月	△ 5.0	16.9	△ 29.6	7.6	△ 2.4	14.3	32.6	△ 16.1	49.2	19.1

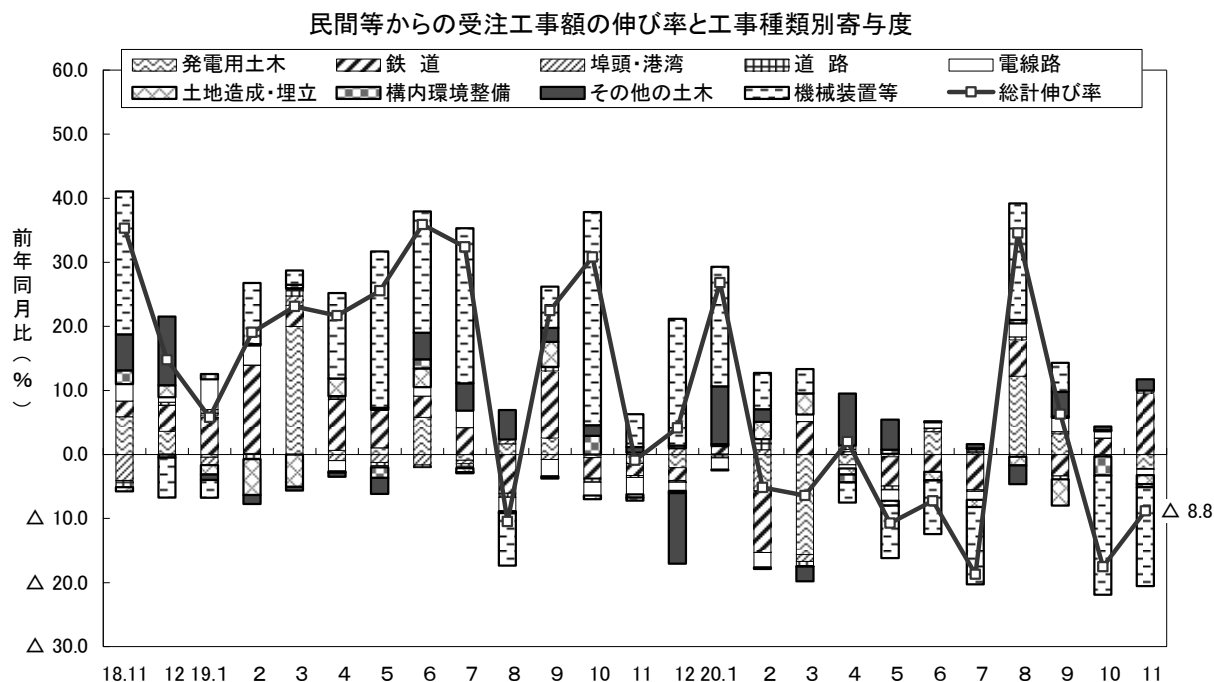
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

11月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,546億円で、前年同月比8.8%減少（2ヶ月連続）した。

発注者別でみると、運輸業、郵便業（前年同月比79.0%増、寄与度+10.4）、農林漁業（同1,832.9%増、寄与度+4.2）等が増加し、電気・ガス・熱供給・水道業（同59.6%減、寄与度-18.6）、サービス業（同46.9%減、寄与度-3.2）等が減少した。

工事種類別でみると、鉄道工事（寄与度+9.6）、その他の土木工事（寄与度+1.5）等が増加し、機械装置等工事（寄与度-15.4）、発電用土木工事（寄与度-2.2）等が減少した。

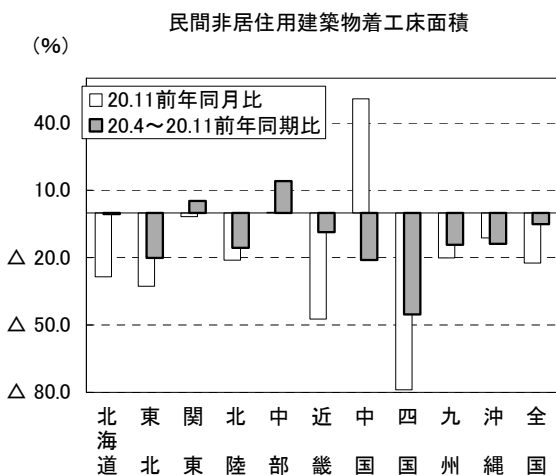
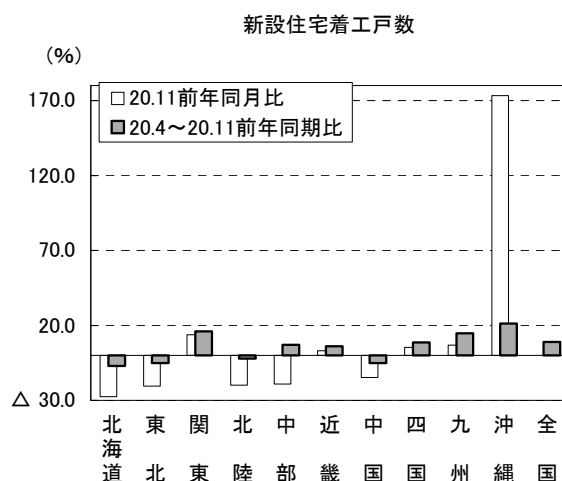
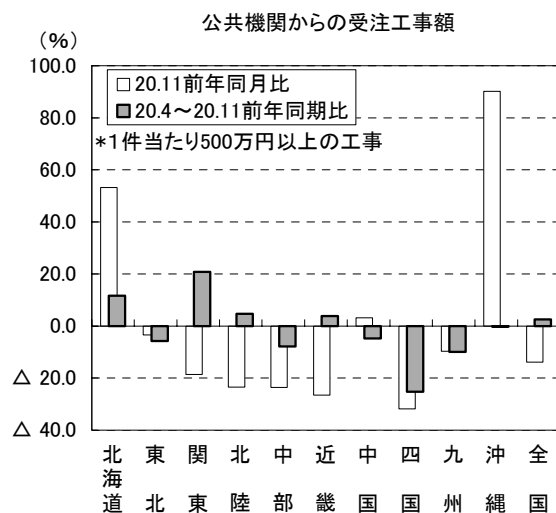
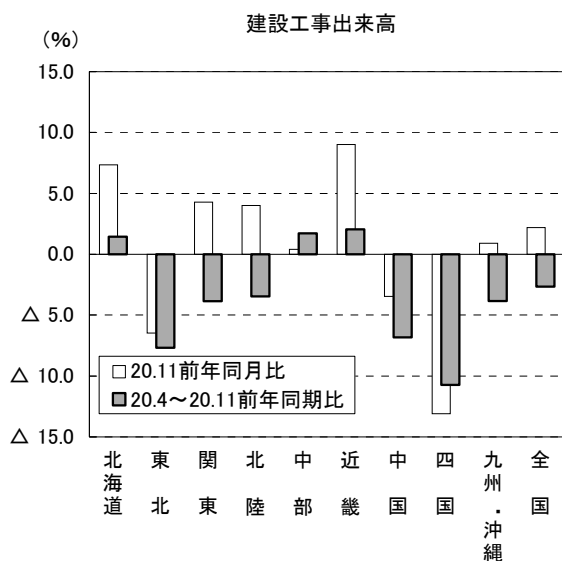


(前年比・%)

区分		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年度	17年度	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9
	18	13.5	110.9	32.2	△ 1.0	△ 1.0	17.6	△ 24.4	25.1	10.6
	19	12.5	△ 39.8	7.7	△ 23.0	△ 9.7	△ 7.2	18.1	3.1	35.1
月次	19年11月	△ 0.9	△ 23.3	△ 14.5	47.1	△ 28.7	△ 21.3	△ 6.7	△ 13.1	11.9
	12	4.1	△ 46.8	△ 12.6	104.6	△ 16.9	△ 12.9	△ 4.5	13.4	61.1
	20年1月	26.8	7.0	7.1	△ 20.1	△ 19.1	△ 9.8	4.6	△ 3.8	53.0
	2	△ 5.1	△ 84.2	△ 41.9	128.4	294.6	△ 22.3	51.8	△ 10.2	14.2
	3	△ 6.4	△ 89.7	24.1	△ 42.3	△ 48.7	17.6	50.3	4.0	13.7
	4	2.0	△ 34.9	2.6	35.3	44.4	△ 3.7	△ 11.9	△ 28.9	△ 8.7
	5	△ 10.7	△ 13.5	△ 28.2	20.1	△ 40.5	△ 18.9	△ 10.8	23.0	△ 16.9
	6	△ 7.3	63.2	△ 18.4	47.3	5.7	8.6	△ 13.8	△ 2.0	△ 21.5
	7	△ 18.7	24.4	△ 39.8	△ 67.4	90.3	△ 7.1	△ 25.1	2.2	△ 27.7
	8	34.6	331.6	36.4	△ 22.0	41.2	21.9	△ 17.7	15.2	46.3
	9	6.3	48.9	△ 15.1	91.0	△ 28.6	29.2	△ 44.2	7.3	13.1
10	△ 17.5	△ 5.2	27.4	3.8	△ 21.4	11.6	3.4	△ 57.4	△ 31.8	
11	△ 8.8	△ 47.6	86.5	△ 11.7	46.0	△ 9.6	△ 19.2	△ 16.4	△ 31.7	
累計	4月～11月	△ 3.6	46.9	△ 0.8	12.0	5.5	2.3	△ 19.8	△ 11.8	△ 13.5

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

## (6) 地域別動向



区分	出来高		受注・着工			企業		雇用		
	建設工事	公共機関	新設	民間非	民間等	建設業	建設技能		有効求人	
	出来高	受注	住宅	居住用	受注	倒産	労働者不足率		倍率	
地域	4月~11月	4月~11月	4月~11月	4月~11月	4月~11月	4月~12月	11月		11月	
	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	%	前年差	倍	前月差
北海道	1.4	11.7	△ 7.0	△ 0.6	△ 4.4	51.3	△ 2.1	△ 2.8	0.47	△ 0.01
東北	△ 7.7	△ 5.7	△ 5.2	△ 20.1	△ 11.1	10.6	0.1	0.6	0.50	△ 0.04
関東	△ 3.9	20.8	16.0	5.3	0.9	14.0	△ 1.4	△ 2.3	0.88	△ 0.05
北陸	△ 3.5	4.7	△ 2.0	△ 15.7	13.1	45.3	2.1	1.1	0.80	△ 0.04
中部	1.7	△ 7.8	7.1	14.2	14.9	13.9	△ 0.4	0.1	1.08	△ 0.07
近畿	2.0	3.8	6.2	△ 8.6	1.3	10.4	△ 2.1	△ 3.0	0.78	△ 0.05
中国	△ 6.8	△ 4.8	△ 5.2	△ 20.9	△ 14.6	50.0	△ 1.6	△ 1.0	0.90	△ 0.06
四国	△ 10.7	△ 25.2	8.6	△ 45.3	△ 49.4	9.3	△ 0.3	△ 1.9	0.78	△ 0.02
九州	△ 3.8	△ 9.9	14.7	△ 14.3	△ 21.8	22.6	△ 0.1	△ 1.6	0.54	△ 0.03
沖縄	—	△ 0.3	21.3	△ 13.8	△ 61.6	11.1	0.7	0.0	0.32	△ 0.01
全国	△ 2.7	2.5	9.1	△ 5.0	△ 3.6	17.9	△ 0.6	△ 0.9	0.76	△ 0.04

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、  
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「職業安定業務統計」

注) 建設工事出来高の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。  
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。  
雇用に関する指標の前年差、前月差の単位は、ポイント。